

会議開催記録

会議名	第7回 森町総合計画審議会
日 時	平成29年2月16日（木）16：00～
場 所	森町町民生活センター 2階集会室
出席者	町長、副町長、審議会委員20名、まちづくり検討委員1名、事務局5名 欠席委員3名（秋山委員、熊王委員、前田委員）
議 事	1 開会 2 町長あいさつ 3 会長あいさつ 4 議事 (1) 森町総合計画基本構想（答申案）について【資料1】 (2) 森町総合計画基本計画（答申案）について【資料2】 (3) 答申文（案）について【資料3】 5 答申（森町総合計画審議会会長から町長へ） 6 閉会
議事要旨	
1 開会	
2 町長あいさつ	<p>町 長： こんにちは。お忙しい中、第7回森町総合計画審議会にご出席いただき、ありがとうございます。前回の第6回は2月3日の開催で、短い期間での開催ですが、本日もご出席感謝いたします。</p> <p>2月5日には森町ロードレース大会が開催され、定着してきたイベントですが、2,500人あまりのエントリーがあり、あいにくの雨天、悪影響の中でしたが、無事開催出来ました。ニュースとして、北海道の森町から町長自ら参加していただき、しかもハーフマラソンを完走されました。</p> <p>2月11日には「森婚」が開催され、大盛況となりました。ここから、いいカップルが生まれればと思っています。</p> <p>今後のご案内もあります。今月25日・26日、BS朝日での放送ですが、爆笑お泊り演芸の舞台となって放送されます。突然のお話だったので、会場がなかなか決められず、保健福祉センターをお借りして、そこで開催の予定です。入場は無料です。</p> <p>今回の審議会は、前回説明しましたように最終回と考えています。本日の審議会は答申案について委員の皆さんから頂いたご意見に対して、町の対応について説明させて頂く予定です。委員の皆さんからご意見を頂いた後、1月13日に私から審議会に諮問させていただいております「案」について答申を頂く予定です。本日もそれぞれの立場から忌憚のないご意見をお願いしたいと思います。よろしくお願い致します。</p>
3 会長あいさつ	<p>会 長： こんにちは。今回で7回目の審議会で、今日も出来るだけ進めたいと思っています。皆様のご協力をお願いします。</p> <p>先ほどの「森婚」ですが、大変盛況で、5組のカップルが出来ました。今後、ここから成婚の暁には、森町としての支援もPRしていきたいと思っています。皆様のご協力に感謝し</p>

ます。

只今より、忌憚のない意見申し上げていただき、最後の会合になればと思います。よろしくお願い致します。

4 議事

(1) 森町総合計画基本構想（答申案）について【資料1】

(2) 森町総合計画基本計画（答申案）について【資料2】

・事務局より、資料1、2一括説明

(審議)

会 長： ご意見、ご質問等ありましたらお願いします。

委 員： 資料2、基本計画答申案、P10、2) 児童福祉の推進の主な事業の部分、ひとり親家庭援助事業という所ですが、近隣市町等を参考にみると、一般には「支援」事業としての方がいいように思いますが、「援助」としている理由は何かあるのでしょうか。支援の方がいいのでは。もう1点、P46(3) 協働のまちづくりの推進の3行目は、「、」は「。」だと思います。

事務局： 1点目については、担当課に確認して、どちらが事業名としてふさわしいのか、確認して表現させていただきます。2点目については、修正いたします。

委 員： P22、P47 の情報発信にかかる記述の中ですが、どちらかで統一してはいかがでしょうか。あと、資料2の裏表紙には文章があり、資料1の最後は白紙になっています。終わり方の違いがわからないのですが、白紙1枚あった方がいいのかどうか。

事務局： 1点目のご指摘ですが「女性や若い世代」で統一したいと思います。2点目については、本体裁が完成形ではなく、巻末白紙の有無の違いに、特に意味はありません。最終的には、合冊し、計画書として通したものになります。

委 員： 全般的な意見になりますが、本審議会の7回全てに町長自身が参加されています。これは、なかなか出来ないことだと思います。一般に首長などが不在ですと、会議中の意見と対応の中身が議会答弁のようになりがちなのですが、町長がいらっしゃることで、熱のある、そして委員の皆さんに、非常に寄り添った議論が出来たように思っています。ここは素晴らしい点だと思いました。町長と事務局に拍手をお送りしたいと思います。

委 員： 先ほど冒頭にありました、追加資料の関係で補足したいと思います。理由にありましたような「近隣市町村でも業務委託をしている・・・」というようなことではなく、手書きの、泥臭くてもいいので「町独自」のものを作ってもらいたかった、そのようにとらえて頂きたいと思います。町の独自性が出ることで、他からも視察に来るような町になって欲しいのです。

会 長： 今のご意見、事務局の耳にはよく入ったのではないかと思います。

委 員： P28、「森林認証」ブランドの活用と地域材の利用推進について、3月24日、F S C 認証の授与式がありますのでご報告させていただきます。

委員一同：(拍手)

委 員： 今朝の新聞には、静岡県選抜の杉、特定母樹という事で、旧林業試験場ですが、県下で5本選ばれたのですが、うち3本が森町からの母樹であるという記事もありました。

会 長： それでは、基本構想の答申案、基本計画の答申案についてご承認いただける方、挙手をお願いします。

委員一同： 挙手全員

会 長： ありがとうございます。ご承認いただいたものとします。ありがとうございます。

(3) 答申文(案)について【資料3】

会 長： 答申文案の説明

委 員： 「記」の4つ目について、具体的にどうやって検証していくのですか。

会 長： 事務局から、「PDCA」について補足して下さい。

事務局： 資料2、P.45～46の再確認

会 長： このような手法は商工会でもやっていますが、今回特に内部だけで評価するのではなく、外部の方からの評価も大事だというところがあります。

委 員： 期間はどのようなのでしょうか。毎年なのか、5年、10年スパンなのか。

会 長： 対象とする事業によっても期間が違ってきますが。

事務局： 検証については、毎年度事業の進捗状況の確認を実施し、年度末あるいは次年度初めに公表する、というサイクルを想定しています。

委 員： 事務局にお願いですが、「一人でも多くの人が実感できるように」という表現がありますが、確かに全員が実感できるという事は難しいですが、この審議会に参加して、「一人も見捨てない」という思いを町長から毎回感じました。自分のことだけではない、そういう人たちの集まり、全ての人の努力が報われるよう、森町は計画を作ったという思いで、静岡県では、ジャパニーズドリームなどと言っていますが、森町では、「誰一人見捨てない、誰

もが報われる」というようなことに対して、職員、町長が尽力すること、そういう思いが込められているということを、他から聞かれたら是非おっしゃって欲しいと思います。

会 長： 答申文の内容について異議ございますか。

委員一同： 異議なし

会 長： 「異議なし」という事で、皆様のご承認を得たものとして可決致しました。それでは答申に移ります。

5 答申

・山本会長より太田町長へ答申

町 長： 本日は、このように、「答申」を頂き、ありがとうございました。昨年6月の第1回から、7回にわたり、熱心にご審議いただきありがとうございました。1回1回が密度の高い審議会でありました。また、たくさんの町民意見を踏まえたものとなりました。多くの意見を1つにまとめていただいた労力に感謝いたします。森町らしさをどう表現するのか、どう広めるかに苦心しましたが、ここに、慎重にまとめていただきましたこと、有り難く思います。

今後は行政として総合計画をどのように推進し、委員の皆さんの期待を、どのように実現していくかが大きなポイントなと考えます。計画の進行管理、達成度合い等をどうわかりやすく町民に表現していくか、随時進捗を確認しながら修正を図りながら、より具体的に推進していくことが重要な課題と認識しています。

右肩上がりの時代であれば、もっと夢のある計画が描けるところですが、人口減少への歯止めをかけることが大きな目的の1つである、そういう状況下で尚、町の将来に対して夢のある計画を、希望が持てる計画をということで、作っていただきました。今後は町民と協働して町づくりに取り組む事で総合計画に掲げました将来像、「住む人も訪れる人も心和らぐ森町」を1人でも多くと言わず、全ての人に実感して頂けるよう、今後の10年間を進めて行きたいと考えています。委員の皆様、長期間にわたって、誠にありがとうございました。

6 閉会

事務局： 本日はありがとうございました。今後基本構想は3月議会に上程しまして、ご審議いただきます。今後も引き続き町政へのご支援ご協力お願い申し上げたいと思います。以上で第7回森町総合計画審議会を閉会させていただきます。

以上